

教科	家庭科	学年	3年	標準授業時間数	技術科と合わせて35時間 (週1時間)
----	-----	----	----	---------	------------------------

目 標	教科目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活や技術とのかみわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	○生活に必要な知識や技術を活用し、実践的活動や体験的活動の充実を目指す。 ○幼児の心身の発達の特徴や子供に果たす家族の役割の重要性を理解させる。 ○販売方法の特徴を理解させ、生活に必要な物資・サービスなど適切な選択購入ができる能力を育てる。

評 価	観 点	生活や技術への関心・意欲・態度	25 %	学習内容に関心を持ち、積極的に取り組む。提出物は完成させ、期限を守って提出する。
		生活を創意工夫する能力	25 %	自分の家庭生活に関する課題を見つけ、その解決を目指し、自分なりに工夫・創造する。
		生活の技能	25 %	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。
		生活や技術についての知識・理解	25 %	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術との関わりについて理解する。
	材 料	授業態度、学習ノート、準備、片づけ、実習、定期テスト		
方 法	各評価材料を観点別に基準に従って評価する。			

学 習	使用教材	教科書「新しい技術・家庭科 家庭分野」 (東京書籍) 学習ノート
	学習形態	教室では一斉授業で進める 被服室、調理室で行なう場合は、班(グループ)学習を行なう。
	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容をよく聞き、作業を進める。 ・授業の内容はノートにまとめる。 ・意欲を持って最後までやる。 ・実習中は、安全面に気をつけて協力して行なう。 ・提出期限を守る。
進 め 方	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やワークシートを見直す。 ・授業の内容を教科書を参考に自分こわかりやすいように整理する。 ・習ったことやオかったことを家庭の中で生かしていく。

年間授業計画

月	学 習 の 内 容	時数	学 習 の ポ イ ン ト
4	B 家族と家庭生活 私たちの消費と環境 1、消費生活について	2	※アンケートにより消費者としての自分を振り返る
5	2、消費者としての自覚	2	※いろいろな販売方法について体験などの発表を通して具体的に考える。
6	3、生活の中での環境と影響	3	※ビデオにより悪質な商法を知らせ、消費者保護について基本的な権利を知らせる。
7			
9	私たちの成長と家族 1、自分の成長と家族	8	
10	2、幼児の心身の発達の特徴		※自分の成長の記録（写真、ビデオ）を見て自分の成長が家族やそれに関わる人々に支えられていることに気づかせる。
11	3、幼児の発達と遊びとの関わり		
12	4、幼児の過ごす場所		※視聴覚教材を利用し、幼児の発達の特徴を身近に理解させ、日常生活でも積極的に子供に接しようとする意欲をもたせる。
1	5、幼児のおやつ作り	2	
2			
3	私たちと家族・地域	1	※おやつ作りを通し、幼児の発達について理解を深めるとともに手作りの良さや食育の大切さを知らせる。
合 計 時 数		18	